

2026 年春アントレプレナーシップ・グローバル海外研修プログラム（スリランカ） 募集要項

= 重要 =

・本プログラム参加にあたっては、必ず応募説明会に参加し、奨学金支給に関する資料の内容を把握し、家族・保証人及び指導教員の同意を得ること。

応募説明会及び春の派遣報告会：大岡山西 講義棟 I WLI-301

2025 年 10 月 8 日(水) 12:40-14:40

・ 12:40-13:20(説明会)・ 13:20-14:40 (夏の派遣報告会)

奨学金支給に関する資料：<https://science-tokyo.box.com/s/xwbkayuws5mkbu0mbq7leqwb7kyj3bjw>

・感染症拡大、自然災害等の影響により、渡航が中止になる場合や、渡航開始後であっても本学の判断で途中帰国を指示する可能性がある。またその際に、**自己負担のキャンセル料や渡航費用が発生すること**を了承の上、応募すること。

・以下の状況となった場合、渡航を中止する、また渡航期間或いは渡航先を変更することになる可能性がある。

(ア) 滞在(予定)地域が日本からの渡航者・日本人に対する入国制限措置及び入国・入域後の行動制限を発令した場合

(イ) 本学が危険と判断した場合

(ウ) 滞在(予定)地域の危険情報レベルが2以上になった場合

(参考:外務省 海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>)

(エ) 派遣先大学、機関等が受け入れを拒否した場合

・以下の大使館の URL には最新情報と、日本からの渡航者に対する各国・地域の入国制限措置及び入国後の行動制限が記載されているので、必ず確認すること。

[在スリランカ日本大使館] https://www.lk.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

【概要】 本プログラムはアントレプレナーシップ教育・グローバル教育オプション（GEO）及びグローバル理工人育成コースの一環として実施する。

本学で「グローバル理工人共修 2・グローバル理工人特論 2」授業等を担当するアーナンダ・クマール氏が学長を務める Lanka Nippon BizTech Institute（LNBTI）への訪問、LNBTI 学生や近隣の高校生との交流、LNBTI 学生との郊外へのショートフィールドトリップ、シーギリヤロック、ランギリ・ダンプラ石窟寺院、アヌラダプラなどの世界遺産訪問を予定(訪問先は変更になる可能性あり)。本プログラムの参加者を下記の通り募集する。

【派遣先】 スリランカ

【渡航期間】 2026 年 3 月 3 日(火)～ 3 月 14 日(土)

【費用】 25 万円程度*（為替レートによる）（航空券代、宿泊費を含む）

*ビザ代、海外旅行保険料、諸経費は含まれない。

*大学が指定する海外旅行保険に加入する必要がある。費用は自己負担。

*航空券及び宿泊先（2～3名1室）はプログラムが手配をする。

*費用支援制度については【海外留学支援制度（協定派遣）について】を参照のこと。

該当者は奨学金 8 万円が支給される場合がある。

【応募資格】

1. 東京科学大学理工学系正規課程学生(学士課程および修士課程の学生)。
2. 現地で英語授業を聴講する程度の語学力を有していることが望ましい。
3. アントレプレナーシップ教育グローバル教育オプション（GEO）の対象科目履修者,または,
グローバル理工人育成コースに所属し以下の通りコース修了に向けた活動を行っている者を優先する。

[2024 年度以降入学者]

アントレプレナーシップ教育・グローバル教育オプション（GEO）の対象科目の履修を積極的に進めている。

[グローバル理工人育成コース所属生（2023 年度以前入学者対象）]

- ① グローバル理工人育成コースの科目履修単位取得数が修了要件に近い。
- ② ポートフォリオに必要事項（グローバル理工人育成コースの志望動機，所属時ループリックの入力をしている）。

*グローバル理工人育成コースの所属・修了等の詳細は，以下の URL にて要確認。

<http://www.ghrd.titech.ac.jp/>

（応募者多数の場合は，初めて参加する者を優先。）

4. 東京科学大学の代表として,節度と責任ある行動をとることができる者

【単位付与】

- ・ 学士課程 1、2 年生の参加については「グローバル海外研修ベーシック I CD (ENT.G111)」の単位が付与される（1 単位）。
- ・ 学士課程 3 年生及び 4 年生の参加については「グローバル海外研修 I CD (LAW.X301)」の単位が付与される（1 単位）。
- ・ 修士課程の参加については，「グローバル海外研修 I CD (ENT.G311)」の単位が付与される（1 単位）。
- ・ 3 月卒業を予定している学生の参加については，以下の条件を満たす必要がある。
 - 1) 当該海外派遣プログラムによる得られる単位の有無にかかわらず，卒業できる見込みがある。
 - 2) 卒業あるいは大学院進学認定に必要な手続きに支障を及ぼさない。

【応募方法】 申込フォームに必要事項を記入のうえ、提出すること

申込フォーム： <https://forms.office.com/r/00UP3aWZHq>

【募集人数】 約 12 名 （最少催行人数 9 名に達しない場合，プログラムを中止する場合がある。）

【選考方法】 書類審査及び面接 （面接は書類審査通過者のみに実施する。）

【応募締切】 2025 年 10 月 27 日(月) 9:00 (必着)

*応募に際しては、申請書類に指導教員、またはアカデミックアドバイザーの承認を必ず得ること。
その際、下記書類を必ず当該教員に確認いただくこと。

<https://science-tokyo.box.com/s/n6mry3umcpr0lg9qe0khih8d1x6fg8u6>

*留学生の参加については、渡航先のビザ取得期間や必要書類等を十分確認の上、応募の可否を自身で判断すること。

【面接予定日】 2025 年 10 月 29 日(水)・30 日(木)・31 日(金)のいずれか。

※30 日 16:00~19:00 の間実施希望

開催場所：大岡山キャンパス：対面

【結果通知】 11 月 5 日(水) 16 時までにメールで連絡

【本プログラムに関わる活動について】(注：日程は変更になる可能性があります。)

上記単位付与のために、本プログラム参加者は、渡航期間を含む下記の国際教育に関わる活動への参加が義務付けられる。

- ・ 2025 年 10 月 8 日(水) 12:40-14:40 大岡山西講義棟 I WL1-301
応募説明会及び春の派遣報告会
- ・ 2025 年 12 月 9 日(火) 12:40-13:20
奨学金説明会 (JASSO 奨学金/東京科学大学基金対象者)
- ・ 2025 年 12 月~2026 年 2 月 海外安全オリエンテーション (録画視聴)
- ・ 2026 年 1 月 13 日(火) 12:40-13:30 楽々WFII による留学手続きに関する説明会
- ・ 2026 年 2 月 10 日(火) 17:30-19:30 シンポジウム (オンライン開催)
- ・ 2026 年 2 月 (日程は別途通知) 危機管理説明会
- ・ 2025 年 12 月~2026 年 2 月:
事前学習・オンライン等 (日程は別途通知)・グループワーク 計 6 回程度
- ・ 2026 年 3 月 現地研修
- ・ 2026 年 4 月~5 月 報告会リハーサル
- ・ 2026 年 5 月 13 日(水) 報告会

【プログラム日程 (予定)】(注：予定は変更になる可能性あり。)

DATE	行動予定
3 月 3 日(火)	成田発→コロンボ着
3 月 4 日(水)	コロンボ市街見学
3 月 5 日(木)	LNBTI 訪問、学生交流
3 月 6 日(金)	LNBTI 学生交流
3 月 7 日(土)	フィールドスタディ(訪問地検討中)
3 月 8 日(日)	フィールドスタディ(訪問地検討中)

3月9日(月)	フィールドスタディ(訪問地検討中)
3月10日(火)	フィールドスタディ(訪問地検討中)
3月11日(水)	コロンボ周辺 バワ関連施設見学
3月12日(木)	スタディ発表会 コロンボ周辺
3月13日(金)	コロンボ市街で活動/午後に空港へ移動
3月14日(土)	機内泊 翌朝成田着

【海外留学支援制度（協定派遣）について】

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の海外留学支援制度（協定派遣）の支援対象であり、以下の要件を満たす者については、この制度により留学に係る費用の一部を奨学金（及び渡航支援金※5を参照）として支援する。

下記の奨学金の要件Ⅰ.のみを満たさない場合（留学生）については、東京科学大学基金より支援できる可能性があるが、枠に限りがあるため、全員が受給できない場合がある。要件Ⅰ.以外の要件についてはJASSO 海外留学支援制度（協定派遣）同様である。

奨学金額（JASSO 規定に基づく）：8万円

奨学金の支給要件

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者（特別永住者を含む）。
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上である者。

※ 学士課程1年生は、前期の成績の成績評価係数を算出する。

※ 超えていない場合、入学時からの累計でも可

〔成績評価係数の算出方法〕

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出(小数点第3位を四捨五入)

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

計算式：(「評価ポイント3の単位数」×3)+(「評価ポイント2の単位数」×2)+(「評価ポイント1の単位数」×1)+(「評価ポイント0の単位数」×0)/総登録単位数

3. 8日以上の実渡航を含め、31日以上(説明会・事前学習等を含む)の国際教育に関わる活動に参加すること。また、必ず単位を取得すること。

31日のうち本プログラムに関わる活動については、【本プログラムに関わる活動について】を参照。

※ これとは別途、「アントレプレナーシップ・グローバル海外研修 奨学金支給のための指定科目」より、渡航前に実施される科目を1科目履修し、必ず単位を取得すること。

アントレプレナーシップ・グローバル海外研修 奨学金支給のための指定科目：

<https://science-tokyo.box.com/s/shm4ziws5ew439a7194ww0sg3a8e10dg>

4. 奨学金の併給について

- 4-1. プログラム参加にあたり、本制度以外の奨学金を受ける場合、支給額が本制度による奨学金額を超えないこと。（本制度以外の奨学金等に航空券代等の渡航に関わる費用が含まれている場合は、その額を切り離した上で月額換算し、支給額が本制度による奨学金額を超えないこと。）
本制度以外の奨学金支給団体側が、併給を認めない場合があるのでしっかり確認すること。
- ※ 返済が必要な貸与型奨学金や学資ローンは含まれない。
- 4-2. JASSO 国内の奨学金「第一種・第二種奨学金」（貸与型）との併給は可能。
なお、留学期間中の貸与を休止する場合は、学生支援課経済支援グループに申し出、必要な手続きをとること。
- 4-3. JASSO 国内の奨学金「給付奨学金」との併給は認められない。留学期間中の給付を停止する場合は、本制度による奨学金支給を受けることができる。学生支援課経済支援グループに申し出、必要な手続きをとること。
5. 以下の家計基準を満たす場合には、本制度による奨学金に加えて、「渡航支援金」（16 万円）の支援対象となる可能性がある。
(渡航支援金の家計基準)
家計支持者全員の収入・所得金額の合計が
給与所得のみの世帯：年間収入金額（税込）が 300 万円以下
給与所得以外の所得を含む世帯：年間所得金額（必要経費等控除後）200 万円以下
※ 家計支持者の収入・所得を証明する書類の提出が必要。取り寄せに時間がかかる場合もある
為、対象となる可能性がある場合は、プログラム参加決定後すぐにグローバル教育実施室に申し出、必要書類を確認すること。

支援対象者決定までのスケジュールについて

11 月 5 日(水) 採用結果通知メールで、海外留学支援制度（協定派遣）または東京科学大学基金 支援可否を通知する。

特記事項

- ◆ 海外留学支援制度（協定派遣）の支援を受ける場合、必要な手続きや提出物があるため、「奨学金説明会（JASSO 奨学金/東京科学大学基金対象者）」に必ず参加し、案内する期日までに提出物を必ず提出すること。
- ◆ 支給要件を満たさない事が後日判明した場合、また、履修状況等により本学において単位付与出来ない場合には、奨学金の支給後であっても、奨学金を返納することになる。事前事後学習を含めたプログラム全体に主体的に参加すること。
- ◆ 本プログラムへの応募を検討する際は、必ず奨学金支給条件に関する資料を確認すること

【問合せ先】

アントレプレナーシップ教育機構 グローバル教育実施室（南 6 号館 4F） メールボックス:S6-14
電話:03-5734-3520 / email: global_edu@cee.isct.ac.jp